

| 科目コード | 授業科目名 | 単位数・学期 | 受講年次 | 授業区分 | 担当教員名 |
|-------|-------|-----------|------|------|-----------------------------|
| 17132 | 仏語Ⅱ | 2単位 後期 | 1~4 | 演習 | 宮里 厚子 (非) フランク・デルバール (非) |

■テーマ

初級フランス語の会話とそれを支える文法の取得(仏語Ⅰの継続)。

■授業の概要

前期の継続、初級のフランス語クラス。自然で実用的な(たとえば旅行で行ったときにも使えるような)日常会話を皆で練習しながら習得し、又それを支える文法事項を学んでいく。会話のトピックに対応しながらフランス人の日常生活、文化、歴史、地理などを映像や動画等も使いながら紹介していく。シャンソンや映画も教材として扱う。フランスの現代にも接していく。

日本人講師(文法)とフランス人講師(会話・文化)とのペア・ティーチング・クラス。

■到達目標

- ・フランス語で平易な日常的なコミュニケーションが円滑に行えるようにする。
- ・それを支える文法事項を習得する。
- ・フランスの社会、生活、文化についての理解を深める。

■授業計画・方法

1. 前期学んだ表現を使った会話練習(担当:デルバール)
2. 前期学んだ文法項目の復習(担当:宮里)
3. Leçon 8 旅行について話す(担当:デルバール)
4. Leçon 8 動詞 venir の活用(担当:宮里)
5. Leçon 8 趣味について話す(担当:デルバール)
6. Leçon 8 目的語代名詞(担当:宮里)
7. Leçon 9 日常を語る(導入)(担当:デルバール)
8. Leçon 9 代名動詞(担当:宮里)
9. Leçon 9 意思を表す(担当:デルバール)
10. Leçon 9 中性代名詞 y (担当:宮里)
11. Leçon 10 お天気(担当:デルバール)
12. Leçon 10 命令形(担当:宮里)
13. Leçon 10 時間の言い方(担当:デルバール)
14. Leçon 10 感嘆文(担当:宮里)
15. Leçon 10 までの復習・仏検練習(担当:デルバール)
16. Leçon 11 部分冠詞(担当:宮里)
17. Leçon 11 食生活(担当:デルバール)
18. Leçon 11 中性代名詞 en (担当:宮里)
19. Leçon 11 レストランで注文する(担当:デルバール)
20. Leçon 12 比較級(担当:宮里)
21. Leçon 12 様々な比較(担当:デルバール)
22. Leçon 12 単純未来形(担当:宮里)
23. Leçon 12 予定を表す(担当:デルバール)
24. Leçon 13 複合過去形(担当:宮里)
25. Leçon 13 昨日やったこと(担当:デルバール)
26. Leçon 13 半過去形(担当:宮里)
27. Leçon 13 以前よくやっていたこと(担当:デルバール)
28. 仏検練習(担当:宮里)
29. 仮定を表す(担当:デルバール)

30. 定期試験。全体のまとめ、復習（担当：宮里）

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・語学学習は通常の教師からの講義という形態もあるが、会話のペア練習やロールプレイなどのグループ学習を取り入れ、学生同士で学びあう授業をめざす。
- ・各 leçon を4回の授業でこなすべく、進めて行くので、当然のことながら、各自の授業への準備が必要です。CDを良く聞き、単語の意味を調べ、文法事項を見ておくこと、練習問題も目を通しておくこと。
- ・各 leçon が終わったら巻末の提出問題は宿題として提出する。
- ・フランスの文化・生活紹介は毎回ノートを取り感想、意見を述べ合う。

■成績評価の方法・基準

□方法 中間・期末テスト50% 会話小テスト・ロールプレイ50%で総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。
基礎フランス的フランス語コミュニケーションとそれを支える文法の習得。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書：「Paris-Bordeaux」Yuji Fujita 朝日出版社 ISBN: 9 7 8 4 2 5 5 3 5 2 5 9 6

□参考文献：

□辞書：